

温故知新

1988年のノーベル化学賞は「光合成反応中心の三次元構造の決定」として、ドイツの Johann Deisenhofer、Robert Huber、Hartmut Michel の3名が受賞しました。2011年の梅名・川上らによる光化学系II (photosystem II, PSII) 蛋白質の三次元構造決定よりおよそ20年ほど前の出来事です。このうちの一人 Deisenhofer 博士が今春2020年3月9日～3月13日まで日本学術振興会主催第12回 HOPE ミーティングで来日予定でした。・・・